

# 第3回 矢作川水防災協議会 開催概要

- 関東・東北豪雨災害の教訓を踏まえ、矢作川において、岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、幸田町、愛知県、気象庁、河川管理者(国)が一体となった「矢作川水防災協議会」を設立し、社会全体で洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するための取組方針を策定。
- 協議会では取組方針に基づき、「施設では守り切れない大洪水は必ず発生する」との考えに立ち、タイムラインの活用、水防訓練の実施など、洪水から流域住民の命を守る「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す取組みの推進を共有。

## 【開催概要】

日時:平成29年5月25日(木) 13:30~14:45  
 会場:豊田市役所 南52会議室  
 出席者:高浜市長、刈谷市副市長、豊田市副市長、安城市副市長  
 陸上自衛隊豊川駐屯地司令、国土交通省豊橋河川事務所長  
 他 関係行政機関担当者  
 主要議事:「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく矢作川の減災に係る取組方針のフォローアップについて

## 第3回協議会開催状況



県の水防災協議会との関係を密にし、それぞれの役割を果たして欲しい。内水氾濫や他河川の氾濫などに対する減災対策について、関係機関とも情報共有しながら進めていきたい。

高浜市長

市町の取組状況について、分析・評価を行い、水防災協議会として目標の達成度を明確にし、その進捗を確認する協議会・幹事会を定期的実施する必要がある。国には、県や市町に対して技術的・財政的な支援を引き続きお願いしたい。市としても、国、県の管理者、学識経験者、地域住民の方々に入って頂く意見交換会や勉強会などを早急に立ち上げていきたい。



豊田市副市長



安城市副市長



刈谷市副市長

取材:新聞1社、テレビ1社

■キャッチネットワーク KATCH TIME 30 H29.5.25  
 地域の水防災意識を高める 矢作川の水防災協議会

■読売新聞 H29.6.1 朝刊

洪水時行動計画を作成 矢作川 豊川流域  
 タイムライン 国と市町、訓練で確認へ